

鹿角市公共施設等総合管理計画改訂（概要）

1. 公共施設等総合管理計画の目的

●鹿角市公共施設等総合管理計画（平成28年3月策定）

今後の人口減少等を踏まえ、可能な限り次世代に負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の最適な配置を実現するため「鹿角市公共施設等総合管理計画（以下、「本計画」という。）」を策定しています。

2. 本計画の改訂にあたって

●背景

国が「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」（平成26年4月策定、平成30年2月改訂）を令和4年4月1日に改訂し、各地方公共団体に公共施設等総合管理計画の総合的かつ計画的な推進と不断の見直しを求めていることから、総務省指針の内容を踏まえた本計画の改訂を行います。

●基本的な考え方

個別施設計画の策定と併せて実施した前回の改訂（R3年3月）から間もないことから、公共施設等の管理に関する基本方針（縮減目標等）は見直さず、原則、総務省指針において「総合管理計画に記載すべき事項」とされたものに対応するための改訂とします。

3. 本計画への追加記載事項

●施設保有量の推移（P7）

公共建築物について、固定資産台帳に基づく延床面積の把握が可能となった2017年度末と2020年度末の施設保有量（延床面積）を比較すると、学校教育系施設（小中学校）の統廃合などにより、維持管理を要する施設の保有量は減少しています。

単位：㎡

大分類	2017年度末	2020年度末	延床面積増減
学校教育系施設	74,299.88	63,379.67	-10,920.21
公営住宅	27,628.99	28,962.07	1,333.08
市民文化系施設	20,163.27	20,163.27	0.00
社会教育系施設	4,260.68	4,165.68	-95.00
スポーツ・レクリエーション系施設	26,940.82	28,639.21	1,698.39
産業系施設	11,745.14	10,936.02	-809.12
子育て支援施設	12,058.35	10,639.67	-1,418.68
保健・福祉施設	9,084.35	8,573.60	-510.75
行政系施設	15,778.50	15,301.56	-476.94
公園	862.93	856.39	-6.54
その他	30,180.40	30,832.85	652.45
合計	233,003.31	222,449.99	-10,553.32

※インフラ資産（P9～）については、本計画策定時（2013年度）の総量に加え、2021年度末現在の保有状況を記載。

●有形固定資産減価償却率（%）の推移（P13）

有形固定資産減価償却費率とは、有形固定資産のうち土地以外の償却資産について、資産の取得からどの程度減価償却が進んだのかを示す指標です。

有形固定資産減価償却率は、直接的な施設の老朽度や安全性を示すものではありませんが、使用期間が法定耐用年数に近づく施設が増加するにつれ、本比率が上昇することが予想されます。

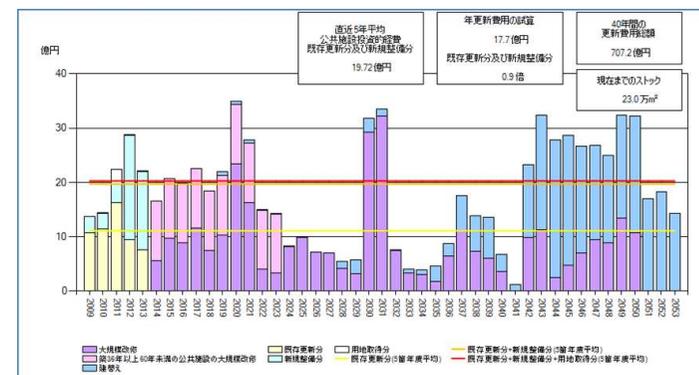
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
鹿角市	59.5	60.7	62.0	62.9	64.0
類似団体平均	58.3	59.6	60.8	61.0	63.0

●長寿命化対策を反映した更新費用推計及び対策の効果額（P16,20,22）

既存施設（公共建築物）を全て保有することを前提に、建築から60年で建替え、30年で大規模改修すると設定して試算した将来更新費用は、年平均21.8億円ですが、施設の長寿命化を図り、法定耐用年数を超えて良好な状態で使い続ける場合の将来更新費用は、年平均17.7億円の見込みとなり、その効果（差額）は4.1億円となります。

長寿命化対策によって、更新費用が平準化される効果が期待されるものの、長寿命化には限りがあるため、いずれは施設更新をするか否かの判断が必要となります。

※推計期間：
2014年～2053年



●脱炭素化に向けた施設整備の推進（P29～）

豊富な再生可能エネルギー資源を持つ本市の優位性を生かし、時勢に先駆けた2030カーボンニュートラルの達成を目指していることから、経済性や施設の特性を考慮しながらも、再生可能エネルギー設備の導入及び未更新施設の照明機器LED化、断熱改修などの省エネルギー設備への更新等により、脱炭素化に配慮した施設整備を推進します。